

### 第339回幹事会議事要旨

日時 令和5年2月22日（水）14：30～16：20

場所 日本学術会議大会議室及びオンライン開催

出席者 （会長） 梶田 隆章

（副会長） 望月 眞弓、菱田 公一、高村 ゆかり

（第一部） 橋本 伸也、溝端 佐登史、日比谷 潤子、吉田 文

（第二部） 武田 洋幸、丹下 健、尾崎 紀夫、神田 玲子

（第三部） 吉村 忍、米田 雅子、北川 尚美

（日本学術会議アドバイザー） 小林 傳司

---

（事務局長） 三上 明輝

（事務局次長） 金子 昇一

（課長等） 上村 秀紀、中里 正明、増子 則義、佐々木 亨、寺内 彩子

#### 審議事項等

1 前回議事要旨等の確認が行われた。

2 以下の公開審議が行われた。

- (1) 「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」の一部改正について決定した。
- (2) 「選考委員会運営要綱」の一部改正（分科会委員の構成の変更）について決定するとともに、分科会委員（新規4件）を決定した。
- (3) 「我が国の学術の発展・研究力強化に関する検討委員会設置要綱」及び「学術情報のデジタルトランスフォーメーションを推進する学術情報の基盤形成に関する検討委員会設置要綱」の一部改正（分科会の設置1件）について決定するとともに、当該分科会委員（新規1件）を決定した。
- (4) 令和5年度代表派遣に係る実施計画及び実施計画に基づく4－7月期の会議派遣者を決定した。なお、「第13回グローバルヤングアカデミー（GYA）総会」については、派遣人数を増やすことを検討することとなった。
- (5) 新型コロナウイルス感染症の影響下における代表派遣者の現地派遣方針を決定した。
- (6) 国際測地学および地球物理学連合（IUGG）総会等にかかる出張者に信任状を発出することについて決定した。
- (7) 令和5年度アジア学術会議に関する国際会議等への代表者の派遣の基本方針を決定した。
- (8) 令和5年度フューチャー・アースに関する国際会議等への代表者の派遣の基本方針を決定した。
- (9) 1件の学術フォーラム及び10件のシンポジウム等について承認した。
- (10) 2件の国際会議及び1件の国内会議の後援について承認した。
- (11) 「2月16日臨時幹事会における内閣府からの「検討状況」説明についての懸念事項」、「岸田文雄首相に対し日本学術会議の独立性および自主性の尊重と擁護を求める声明」、「声明『日本学術会議法改正につき熟慮を求めます』」及び「各国アカデミーについて」について説明及び議論を行った。

3 以下の非公開審議が行われた。

- (1) 選考委員会に対し、特に会員候補者となるべき者の選考作業を丹念に、しかしスピード感を持って行うこと等を幹事会として求めることを決定した。
- (2) 国際業務に参画するための連携会員（特任）の任命について決定した。
- (3) 2023 本田賞受賞候補者を推薦することについて決定した。